# 世界史　授業 №９　テーマＱ.＆Ａ.プリント

１．今日のテーマ・クエスチョン

## ポリスの民主政は今日とどう異なるか？

２．テーマ・アンサーのキーワードをピックアップ
※教科書該当ページ（Ｐ．２５）の中から見つけよう！

前５世紀初め、アケメネス朝（ペルシア）の支配に対し、イオニア地方のギリシア人植民市が反乱をおこした。これをアテネが支援したことをきっかけにはじまったのが、（　１　）である。民主政によって団結を強めたアテネ市民団を中心に、ギリシア軍はマラトンの戦いやサラミスの海戦でアケメネス朝の遠征軍を破り、ポリスの独立をまもった。
アテネはペルシア軍の再来にそなえて結ばれた（　２　）の盟主となり、強大な海軍力を背景に他の同盟諸ポリスに対する支配を強めた。一方、国内では軍艦の漕ぎ手として勝利に貢献した（　３　）の発言力が高まり、前５世紀のなかばころ、将軍（　４　）の指導のもとでアテネ民主政は完成された。成年男性市民の全体集会である（　５　）が、多数決で直接国家の政策を決定し、役人や裁判の陪審員は貧富にかかわらず市民から（　６　）で選ばれた。しかし、奴隷・在留外人・女性には参政権がなかった。

＜記入欄＞
１（　　）２（　　）３（　　）
４（　　）５（　　）６（　　）

３．今日のテーマ・アンサー（テーマ・クエスチョンの答）確認
※今日のノートに取った内容や２.でピックアップしたキーワードを参考にしよう。

Ｔ.Ｑ.「ポリスの民主政は今日とどう異なるか？」

Ｔ.Ａ.
代表的なポリス、アテネの民主政は、［①　　］に成年男子市民が全員参加した［②　　］民主政であり、女性や在留外人には参政権のない［③　　］選挙制で［④　　］制の上に立っていた。また、特別なもの以外は全ての官職が［⑤　　］で市民に開放されていた。しかし民主政の落とし穴である［⑥　　］政治に陥り、スパルタとのペロポネソス戦争に敗れる。その後ギリシアではペルシアに操られてポリス同士の戦争が続き、市民は土地を失う。それで傭兵の使用が流行したが、結局北方ギリシア人のマケドニア王国にポリス連合軍は敗れてしまった。

＜記入欄＞
①［　　］②［　　］③［　　］
④［　　］⑤［　　］⑥［　　］

［　］年［　］Ｈ　Ｎｏ.［　　］　氏名［　　］